

ドジョウの仲間



イシドジョウ

5点

- 川の上流に生息
- 尾びれの付け根は幅が広い
- 県内では東部に分布するが少ない



ヤマトシマドジョウ

4点

- 川の中流に生息
- 尾びれの付け根の黒点は2つ
- 県内には広く分布する



スジシマドジョウ類

5点

- 川の中流から下流に生息
- 尾びれの付け根の黒点は1つ
- 福岡県には複数種が分布する



ドジョウ

4点

- 水路や水田に生息
- 口ひげは10本でしま模様はない
- 県内には広く分布するが少ない

ナマズの仲間



ナマズ

3点

- 川の中流から下流に生息
- 口ひげは4本(ただし稚魚では6本)
- 県内には広く分布する



アカザ

5点

- 川の上流に生息
- 体は赤く、胸びれや背びれに棘がある
- 県内には広く分布するが少ない



アリアケギバチ

5点

- 川の中流に生息
- 黒と黄色の模様で、口ひげは8本
- 県内では西部に分布するが少ない



ギギ

5点

- 川の中流に生息
- 黒と黄色の模様で、口ひげは8本
- 県内では東部に分布する

スズキの仲間



オヤウラミ

5点

- 川の中流に生息
- 体に赤いすじ模様がある
- 県内には広く分布するが少ない



オオクチバス

1点

- 通称ブラックバス
- 口は大きく、体には黒い模様がある
- 北アメリカ原産で特定外来生物



カムルチー

1点

- 通称ライギョ
- 独特のまだら模様をもつ
- 中国大陸原産の国外外来種



ブルーギル

1点

- 川の下流やため池に生息
- えらぶたに青い模様、体にしま模様をもつ
- 北アメリカ原産で特定外来生物



ドンコ

2点

- 川の上流から下流に広く生息
- 頭が大きく、ゆっくりと動く
- 県内ではふつうにみられる



ヨシノボリ類

3点

- 川の上流から下流に生息
- 腹びれは吸盤状
- 県内には複数種が分布する



カジカ

5点

- 川の上流に生息
- ドンコに似るが上あごが突き出す
- 県内では西部に分布するが少ない

その他の仲間



ミナミメダカ

3点

- 川の下流や水路に生息
- 尻びれの幅は長い
- 県内には広く分布する



カダヤシ

1点

- 川の下流や水路に生息
- メダカに似るが尻びれの幅は短い
- 北アメリカ原産で特定外来生物



ニホンウナギ

4点

- 川の中流から下流に生息
- 細長い体をしている
- 県内には広く分布する



ヤマメ

4点

- 川の上流に生息
- だ円形の斑紋が並ぶ
- 県内には広く分布する



スナヤツメ

5点

- 川の上流から中流に生息
- 7個のえら穴が目立つ
- 県内には広く分布するが少ない

福岡県の淡水魚

～魚を使った環境しらべ～

とれた魚の種類ごとの点数を合計し、とれた種類数で平均点を計算します。平均点数が高いほど魚にとって良い環境ですが、大まかには下記の値を参考にしてください。

3.0以上だったら (I) とても豊かな自然が残る環境

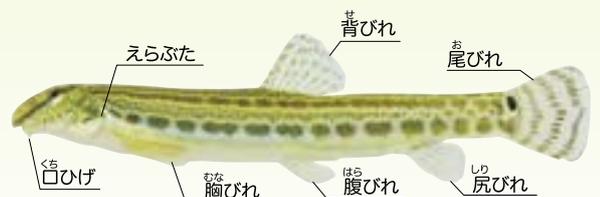
2.5-2.9だったら (II) 豊かな自然が残る環境

2.0-2.4だったら (III) 自然が失われつつある環境

1.9以下だったら (IV) 自然がかなり失われた環境

平均点数が

同じ種類の魚をたくさんとっても得点は変わりません。例えば、メダカを10匹とっても1匹とっても得点は3点で計算します。できるだけ色々な種類の魚をつかまえて計算してみましょう。



魚の体 各部分の名称

【編集】福岡県保健環境研究所 環境生物課 【発行】福岡県環境部自然環境課

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

福岡県の淡水魚

ハヤの仲間



オイカワ

2点

- 川の中流から下流に生息
- メスや子供は銀色、口先が赤い
- 県内ではふつうにみられる



カワムツ

2点

- 川の上流から中流に生息
- 腹びれや尻びれは黄色い
- 県内ではふつうにみられる



ヌمامツ

4点

- 川の下流や水路に生息
- カワムツに似るが腹びれは赤い
- 県内では東部、南西部に分布する



タカハヤ

3点

- 川の上流に生息
- めめっとした体をしている
- 県内ではふつうにみられる

外来種



ハス

1点

- 川の中流から下流に生息
- かぎ状の大きな口をもつ
- 琵琶湖淀川水系原産の国内外来種



カワバタモロコ

5点

- 止水の水路に生息
- 最大5センチ程度で、体はたてに平たい
- 県内では西部に分布するが少ない



ヒナモロコ

5点

- 水路に生息
- 最大6センチ程度
- 日本では福岡県にのみ分布し、少ない

タナゴの仲間



ヤリタナゴ

4点

- 川の下流に生息
- 口ひげが目立ち、オスの尻びれは赤い
- 県内には広く分布する



アブラポテ

4点

- 川の中流に生息
- 口ひげが目立ち、オスの尻びれは黒い
- 県内には広く分布する



カネヒラ

4点

- 川の中流から下流に生息
- オスの背びれと尻びれは桃色
- 県内には広く分布する



セボシタビラ

5点

- 川の中流から下流に生息
- オスの背びれは赤く、尻びれは白い
- 県内では西部に分布するが少ない



ニッポンバラタナゴ

4点

- 川の下流や水路に生息
- オスは全身が桃色になる
- 県内には広く分布する



カゼトゲタナゴ

5点

- 川の中流に生息
- 青いラインが背びれの前まで伸びる
- 県内には広く分布する

カマツカの仲間



ムギツク

4点

- 川の中流に生息
- 黒いラインが目立つ
- 県内には広く分布する



モツゴ

2点

- 川の下流や水路に生息
- 口はとがり、体は銀色
- 県内には広く分布する



イトモロコ

3点

- 川の中流から下流に生息
- 口ひげがあり、体は銀色
- 県内ではふつうにみられる



カワヒガイ

4点

- 川の中流から下流に生息
- 口は小さく、下を向く
- 県内では西部に分布する



カマツカ

3点

- 川の中流から下流に生息
- 顔はとがり、口ひげがある
- 県内ではふつうにみられる



ゼゼラ

3点

- 川の中流から下流に生息
- 口は小さく、ひげはない
- 県内には広く分布する

コイ・フナの仲間



ギンプナ

2点

- 川の中流から下流に生息
- 口ひげはない
- 県内ではふつうにみられる



コイ

1点

- 川の中流から下流に生息
- よく目立つ口ひげを持つ
- 県内ではふつうにみられる



ゲンゴロウプナ

1点

- 川の中流から下流に生息
- 他のフナより体高がある
- 琵琶湖淀川水系原産の国内外来種



ツチフキ

4点

- 川の下流や水路に生息
- カマツカに似るが口は小さい
- 県内には広く分布する

あし
脚はなくイモムシ型



ガガンボ科
4点

あし
脚はなく赤い



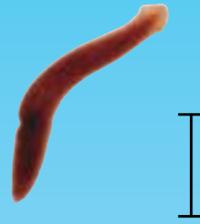
赤いユスリカ
1点

あし
脚はなく茶色



その他のユスリカ
3点

すべるように動く



プラナリアの仲間
4点

から
殻は細長くとがる



カワナ科
4点

から
殻は右巻きで、
しよっかく
触角は太い



モノアラガイ科
2点

から
殻は左巻きで、
しよっかく
触角は細い



サカマガイ科
1点

黒、黄など
色は様々



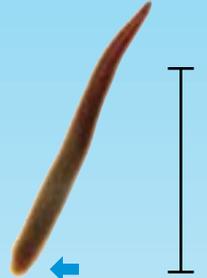
シジミガイ科
3点

うねうねと動く



イトミミズ科
1点

きゅうばん
尾の吸盤を使って動く



ヒルの仲間
2点

常に横向きで動く



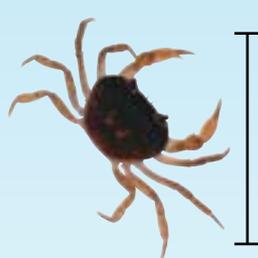
ヨコエビ科
5点

ダンゴムシのように
水底を歩き回る



ミズムシ科
2点

赤、茶、白など
色は様々



サワガニ科
5点

とれた生き物の点数を合計し、合計点数を
種類数でわって平均点数を計算します。
平均点数が高いほどきれいな水ですが、大まかな
目安としては次の値を参考にしてください。

平均点数が

- 3.5以上だったら (I) きれいな水
- 2.5-3.4だったら (II) やや汚れた水
- 1.5-2.4だったら (III) 汚れた水
- 1.4以下だったら (IV) 大変汚れた水

※横の棒はだいたい最大サイズです

川の中の生き物



君は何種類見つけたかな
ここにのっていない生き物も探してみよう

編集 福岡県保健環境研究所 環境生物課
発行 福岡県環境部環境保全課



茶色でよく泳ぐ



チラカゲロウ科
5点

体はとても平たい



ヒラタカゲロウ科
4点

小型でよく泳ぐ



コカゲロウ科
3点

体は固く、
あまり泳がない



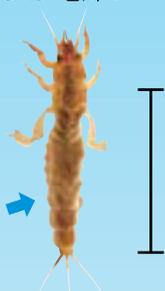
マダラカゲロウ科
4点

体はやや平たい



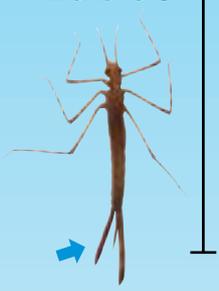
カワカゲロウ科
3点

体は柔らかく、
エラが毛深い



モンカゲロウ科
4点

尾の先に
エラがある



カワトンボ科
5点

体は固く、
しよっかく
触角は目立たない



ムカシトンボ科
5点

体は平たく、
しよっかく
触角は太い



サナエトンボ科
4点

しよっかく
触角は細い



オニヤンマ科
3点

やわらかい尾が2本



オナシカワゲラ科
5点

しっかりした尾が2本



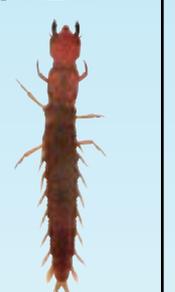
カワゲラ科
5点

水底を歩き回る



ナベブタムシ科
4点

きば
牙が目立つ



ヘビトンボ科
4点

顔は細長い



ヒゲナガカワトビケラ科
5点

顔は短く、
エラが目立つ



シマトビケラ科
3点

顔は小さい



ナガレトビケラ科
5点

せお
巣を背負い歩き回る



携巣性トビケラの仲間
5点

とても平たい

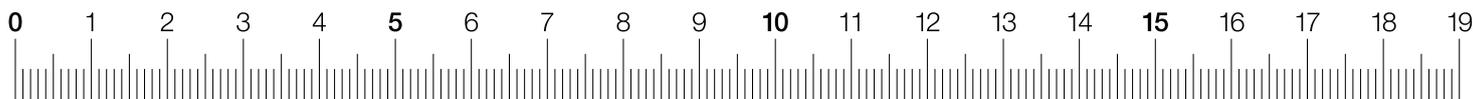


ヒラタドロムシ科
4点

きば
牙は目立たない



ホタル科
4点



福岡県簡易スコア法 魚類同定マニュアル

福岡県保健環境研究所環境生物課
ver.2020.3.31

Start

体はとっても細長い

はい

いいえ

背びれの数はいくつ？

1つ

2つ

前後の背びれの
大きさは？

後ろが小さい

後ろが大きい



ヤマメ(4点)
体に楕円形の斑紋
口が大きい
冷たい水を好む



アカザ(5点)
体は赤～茶色
口に目立つヒゲがある
尾ビレ後端は丸い



アリアケギバチ(5点)
口に目立つヒゲがある
尾ビレの切れ込みは浅い
日本海側～有明海側



ギギ(5点)
口に目立つヒゲがある
尾ビレの切れ込みは深い
遠賀川～瀬戸内海側

体形は？

左右に扁平

筒形



オヤユラミ(5点)
体に横帯模様
眼から放射状に赤い斑紋
ヒレに細かい斑点模様



オオクチバス(1点)
茶色～黄緑色
体側に黒色の縦条模様
ヒレに目立つ模様がない



ブルーギル(1点)
体に横帯模様
顔からエラにかけて青色
ヒレに目立つ模様がない

口にひげは？

顔より長い

たくさんあり目立つ

目立たない

裏面へ



ナマズ(3点)
黒色でヌメヌメ
口が大きく下あごが出る
背ビレは小さい



インドジョウ(5点)
体の模様は縦条
類にも目立つ縦条模様
尾ビレ先端は直線状



ヤマトシマドジョウ(4点)
体の模様は点列
尾ビレ付け根に2黒点
尾ビレ先端は直線状



ドジョウ(4点)
体に規則的な模様はない
尾ビレ後端は丸い



シマドジョウ類(5点)
体の模様は点列か縦条
尾ビレ付け根に1黒点(上のみ)
尾ビレ先端は直線状



ヨシノボリ類(3点)
黒色～茶色
腹ビレが吸盤状になる
色々な種類がいる



ドンコ(2点)
茶色
口が大きく下あごが出る
第2背鰭は幅が短い



カジカ(5点)
茶色
口が小さめで上あごが出る
第2背鰭は幅が長い

裏面～ロヒゲ目立たない～
Start

背びれはとても長い？

いいえ

はい



カムルチー(1点)
迷彩柄のマダラ模様
口が大きく下あごが出る
通称ライギョ

 カマツカ(3点) ロヒゲは目立つ 顔がとがる 銀色に黒色模様	 ムギツク(4点) ロヒゲは短い 口がとがる 体に目立つ縦条模様
 ツチフキ(4点) ロヒゲは短い 顔はやや丸い 銀色に黒色模様	 イトモロコ(3点) ロヒゲは短い 顔がとがる 各ヒレに模様がない

体形は？

左右に扁平

寸胴な筒形

背びれと腹びれの位置は？

ほぼ同じ位置



背びれが後ろ



短い
ロヒゲは？

ある

ない

 カワムツ(2点) 体側に縦条模様 各ヒレは黄色	 オイカワ(2点) 銀色 (オスは青緑色) 鼻が赤い 腹ビレは白色
 ナムムツ(4点) 体側に縦条模様 各ヒレは黄色 腹ビレ前縁が赤色	 モツゴ(2点) 銀色 まれに細い縦条模様 口がとがる

体色は？

銀色

銀+カラフル

コイ(1点)
短いロヒゲがある
背ビレはやや長い

ギンブナ(2点)
ロヒゲはない
黄色がかかる

ヘラブナ(1点)
ロヒゲはない
銀色で体高が高い

アブラボテ(4点)
短いロヒゲがある
黄色～橙色でラインなし

ヤリタナゴ(4点)
短いロヒゲがある
銀色でやや細くラインなし

カネヒラ(4点)
ロヒゲは見えない
尾に赤と青の二重ライン

セボシタビラ(5点)
短いロヒゲがある
緑がかり尾に赤と青の二重ライン

ニッポンバラタナゴ(4点)
ロヒゲはない
銀色で体高が高く青いライン

カゼトゲタナゴ(5点)
ロヒゲはない
体の中心～尾びれまで青いライン

ヒナモロコ(5点)
尾ビレ後端は二叉
目立つ模様がない

カワバタモロコ(5点)
尾ビレ後端は二叉
体は扁平
目立つ模様がない

タカハヤ(3点)
尾ビレ後端は二叉
細かい斑点模様がある

ミナミメダカ(3点)
尾ビレ後端は直線状
背ビレは極端に後方
臀ビレは幅広い

カダヤシ(1点)
尾ビレ後端は丸い
背ビレは後方
臀ビレは幅狭い

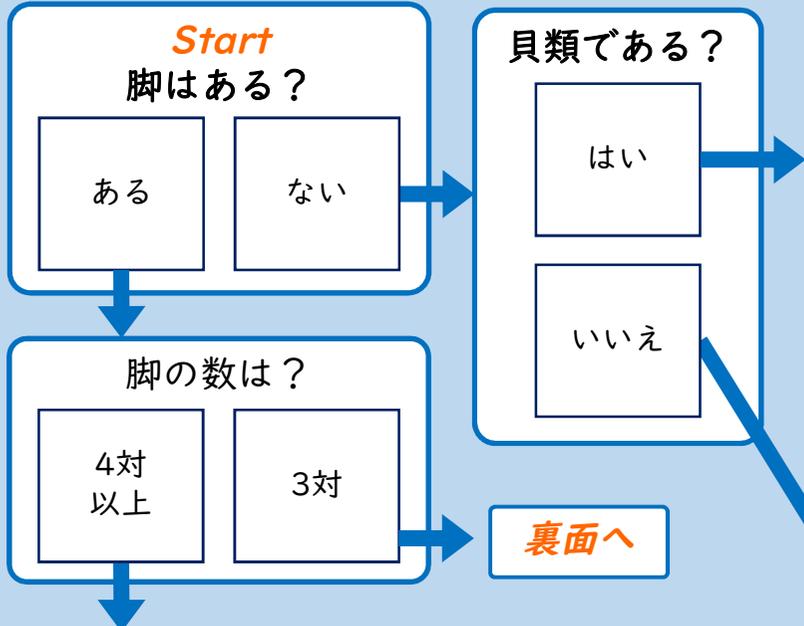
ハス(1点)
銀色で口が大きい
腹ビレは白色

カワヒガイ(4点)
黄色味があり縦条模様
顔がまるい

ゼゼラ(3点)
体は円筒形でひれに斑紋
顔がまるい

福岡県簡易スコア法 底生動物同定マニュアル

福岡県保健環境研究所環境生物課
ver.2020.3.31



貝類

カワナナ科(4点)
細くとがった巻き貝
固い

モノアラガイ科(2点)
丸く右巻きの巻き貝
やや柔らかい
黄色～茶色

サカマキガイ科(1点)
丸く左巻きの巻き貝
やや柔らかい
黒っぽい

シジミガイ科(3点)
有名な二枚貝
色は黄色～黒色

***注意：指標種ではない貝類**

マルタニシ・ジャンボタニシなどのタニシ類は殻が丸くずんぐりしている

甲殻類

サワガニ科(5点)
赤、白、茶色と様々
手に毛がない
甲羅はつやつや

ミズムシ科(2点)
灰色
ダンゴムシに似る
水底をよく歩く

ヨコエビ科(5点)
灰色～橙色
ツヤがある
横倒してよく動く

***注意：指標種ではない甲殻類**

アメリカザリガニ、スジエビ・ヌマエビなどのエビ類は指標種ではない

その他の生物

ガガンボ科(4点)
節が目立つイモムシ系
お尻に突起

赤いユスリカ(1点)
鮮やかな赤
細く小さい

その他のユスリカ(3点)
薄い色味で細く小さい

ヒラタドロムシ(4点)
丸く平べったい
実は裏返すと脚がある

プラナリアの仲間(4点)
頭が三角形で、眼が目立つ
すべるように動く

ヒルの仲間(2点)
頭が細長い
尾端を支点に動く

イトミミズ科(1点)
超細いミミズ
うねうね動く

裏面 Start
体形はイモムシ型？

はい

いいえ

大きな牙はある？

はい

いいえ

ヘビトンボ目



ヘビトンボ科(4点)
牙がよく目立つ
腹に多数の突起

顔と脚は目立つ？

いいえ

はい



ホタル科(4点)
牙が目立たない
腹に多数の突起

腹のエラと尾の形の組合せは？

腹のエラ

なし

なし

あり

+

+

+

尾

0本か
扁平3本

細い尾
2本

細い尾
2~3本

トンボ目



サナエトンボ科(4点)
体型は様々で触角が丸い
後ろ足だけ長い



ムカシトンボ科(5点)
黒くて固い
触角は目立たない



オニヤンマ科(3点)
茶色く、毛深い



カワトンボ科(5点)
体が細長い
尾の先に扁平なエラ

トビケラ目



シマトビケラ科(3点)
頭は短い。やや緑色



ヒゲナガカワトビケラ科(5点)
頭は細長い。全身黒~暗緑色

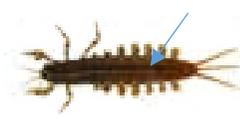


ナガレトビケラ科(5点)
頭は小さい。
緑色で頭だけ黒~茶色

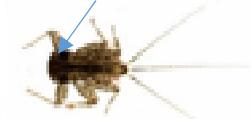


携巣性トビケラ(5点)
ミノムシのような巣をもつ
種類は多い

カゲロウ目



チラカゲロウ科(5点)
茶色に一本の白い線
よく泳ぐ



ヒラタカゲロウ科(4点)
とても平たく、頭が大きい
ピコピコと動く



コカゲロウ科(3点)
小さく細長い
よく泳ぐ



モンカゲロウ科(4点)
細長く、エラがフワフワ
のそのそと歩く



マダラカゲロウ科(4点)
やや幅広くガッシリ
動きが遅い



カワカゲロウ科(3点)
細長く、平たい
コカゲロウ似だが泳がない

カメムシ目



ナベブタムシ科(4点)
体は扁平で後脚に毛

カワゲラ目



カワゲラ科(5点)
胸に模様がある
よく動くが泳がない



オナシカワゲラ科(5点)
目立つ模様がない
動きは遅い